

6月の産業機械受注高、外需2割減

Edited By LogisticsToday On 2017/08/10

日本産業機械工業会は9日、6月の産業機械受注状況を発表した。受注高は5044億1900万円（前年同月比7%減）で、内需が3183億4400万円（5%増）、外需が1860億7500万円（22.2%減）となった。

内需のうち、製造業向けは1.5%減、非製造業向け1.1%減、官公需向け18%増、代理店向け5.8%増だった。

増加した機種は、タンク（4.3倍増）、ポンプ（8.4%増）、圧縮機（7%増）、送風機（18.1%増）、運搬機械（46.2%増）、金属加工機械（2.3倍増）、その他機械（13.5%増）の7機種。

減少機種はボイラ・原動機（4.8%減）、鉱山機械（16.2%減）、化学機械（11.1%減）、プラスチック機械（21.3%減）、変速機（0.1%減）の5機種となった。

外需のうち増加した機種は、化学機械（45.3%増）、ポンプ（10.5%増）、圧縮機（52%増）、運搬機械（6.7倍増）、の4機種で、減少したのはボイラ・原動機（66.9%減）、鉱山機械（51.9%減）、タンク（87%減）、プラスチック機械（7.6%減）、送風機（78.7%減）、変速機（11.7%減）、金属加工機械（29.7%減）、その他機械（10.7%減）の8機種だった。

機種別では、ボイラ・原動機が非鉄金属、外需の減少で45.1%減、鉱山機械が鉄鋼、外需の減少で22.3%減、冷凍含む化学機械が外需の増加で11.3%増、タンクが石油・石炭、その他非製造業の増加で3.6倍増となった。

プラスチック加工機械が繊維、化学、外需の減少で13.1%減、ポンプが情報通信機械、官公需、外需、代理店の増加で8.8%増、圧縮機が汎用・生産洋、外需の増加で22.8%増、送風機が運輸・郵便、官公需の増加で6.9%増。

運搬機械が繊維、自動車、運輸・郵便、外需の増加で2.1倍増、変速機が汎用・生産用、電気機械、情報通信機械が増加したものの、自動車、運輸・郵便、官公需、外需の減少で12.5%減、金属加工機械が鉄鋼の増加で57%増となった。プラント案件はなかった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/297165>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.